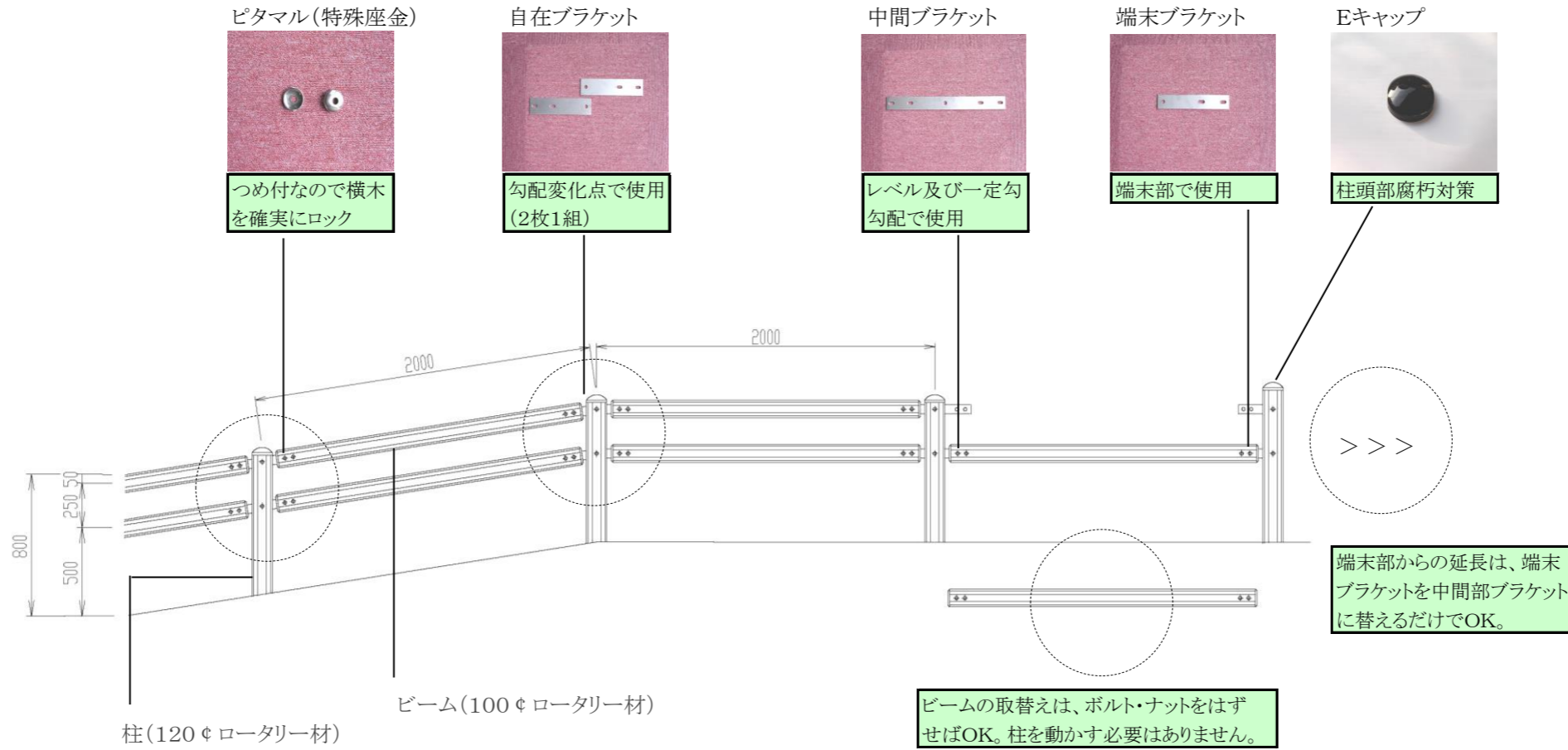


常に一步先の技術を標準化する、ウッドレールロングです。

1枚のプレート・特殊金物、1個のキャップ、そして1本の内蔵鋼材が、木製防護柵の可能性を上げました。

(下図はウッドレールロング WRC2080-C2-E を表記しています)



ガードレールの打込み機で内蔵鋼材建柱



鋼材建柱とブラケットの取付完了



木製ビーム取付完了



木製化粧材取付中



内蔵鋼材柱の立込み中



木製化粧材取付中



Eキャップ取付

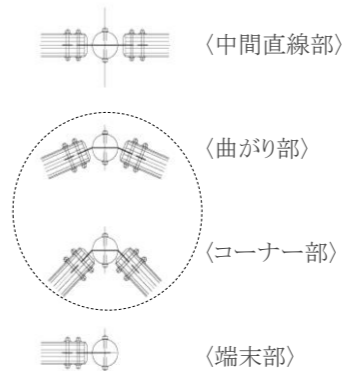


木製格子パネル取付



従来型木製防護柵とウッドレール・ウッドレールロングの性能比較 (相対評価)

	従来型木製防護柵		アーバンウッドレール	
機能性	×	勾配・曲がり箇所ごとに加工必要	◎	勾配も曲がりも自由自在
デザイン性	○	1. 頭部キャップなく変化に乏しい 2. 頭部の飛出しあり、連続性損なう	◎	1. 頭部キャップはカラーリング自由 2. 頭部の飛出しなく木柵の連続性あり
耐久性	△	1. 頭部キャップなく腐朽が早い 2. 木部中心まで防腐薬液が入らない 3. 柱の断面欠損が大きい	◎	1. 頭部にFRPキャップ使用 2. 金物は全て亜鉛メッキ処理 3. 柱の断面欠損が小さい 4. 内蔵鋼材により高耐久・高強度
勾配・コーナー	UP有り	製品標準価格がUPする	UP無し	製品標準価格でOK
柱頭部キャップ	オプション	付ければ価格がUPする	標準仕様	製品標準価格に含まれる
メンテナンス	△	ビームの取替えが難しい	○	1. ビームの取替えが簡単
現場実測	必要	1. 勾配・曲がり度は都度加工必要 2. 価格UP、長納期にもつながる	不必要	勾配・曲がり度は金物で処理
加工性と納期	△	勾配・曲がり部に加工納期がかかる	◎	勾配・曲がりに関係なく同じ加工でOK
環境配慮	○	間伐材使用	◎	1. 間伐材使用 2. 頭部キャップはリサイクルFRP 3. 再生木材も利用可



曲がり部やコーナー部は現場に合わせて
ブラケットを曲げて設置。現場測量
> 図面作成 > 工場加工の手間が要らず
途中のミスによるトラブルも発生しません。